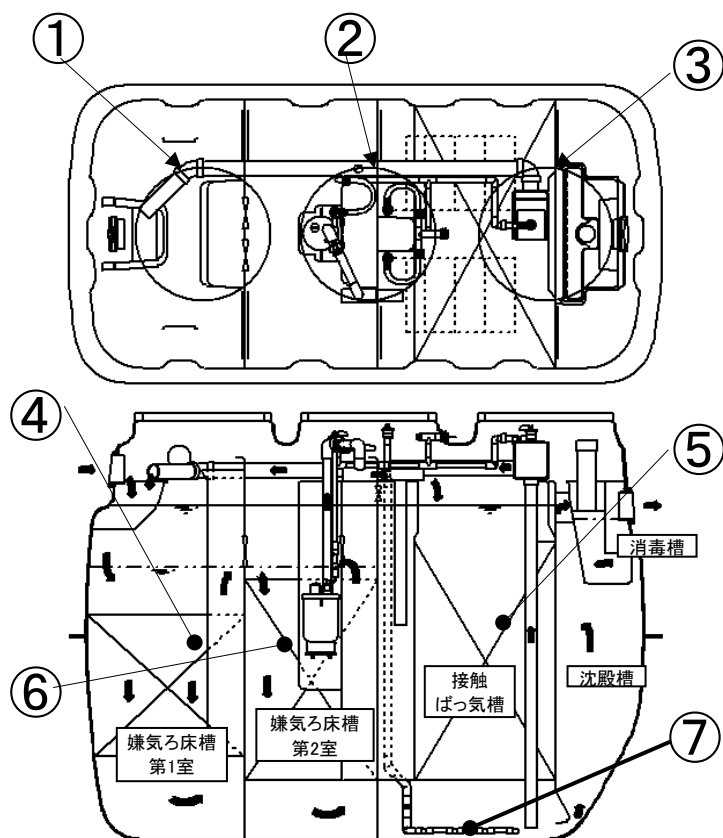
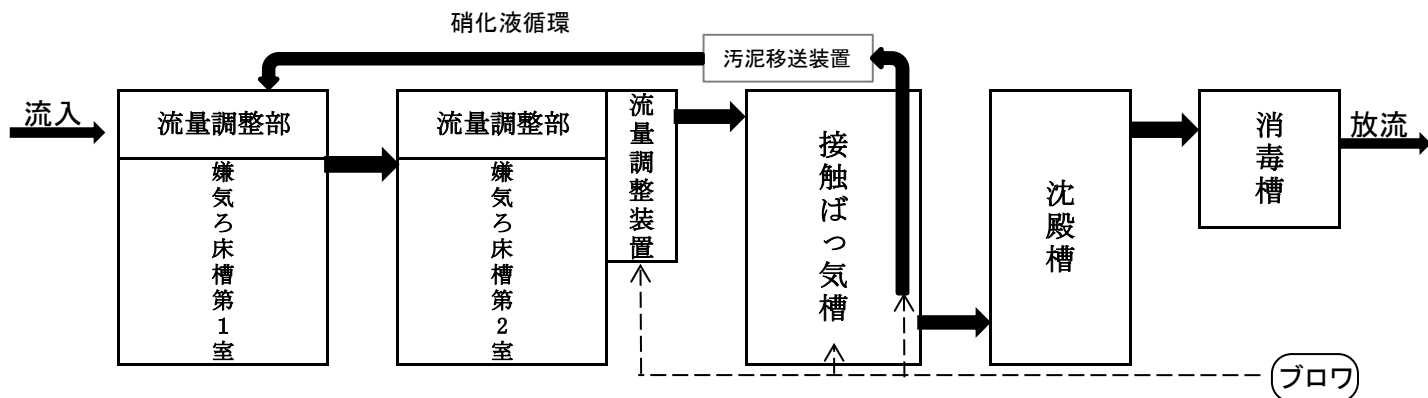


RCH-N (株)ダイキアックス OEM: なし 共同開発: DCH-N ニッコー(株) 処理方式: 流量調整型嫌気ろ床接触ばっ気循環方式 5・7・10人槽	窒素除去型		全浄協登録値		
	BOD	SS	T-N		
	20mg/L以下	—	20mg/L以下		
	性能評定または性能評価値				
	BOD	SS	T-N		
10mg/L以下	—	20mg/L以下			



- ①嫌気ろ床槽第1室
- ②嫌気ろ床槽第2室
- ③接触ばっ気槽
- ④嫌気ろ床槽第1室ろ材
- ⑤接触材
- ⑥嫌気ろ床槽第2室ろ材
- ⑦散気管兼逆洗管

有効容量 (m ³)		5人槽	7人槽	10人槽	
槽名	嫌気ろ床槽 第1室	0.698	0.988	1.435	
	嫌気ろ床槽 第2室	0.655	0.911	1.434	
	(流量調整部)		0.311	0.436	0.668
	接触ばっ気槽	1.056	1.404	2.031	
	沈殿槽	0.358	0.478	0.749	
	消毒槽		0.024	0.022	
	合計		3.102	4.217	6.339

槽底部からろ材受け面までの距離 (mm)	第1室	350	
	第2室	250	300

流量調整機能	間欠定量ポンプ(流調用) バルブ開度(%)						循環装置	循環用エアリフトポンプ バルブ開度(%)						散気兼逆洗用 バルブ
	有	5人	20	7人	25	10人		40	有	5人	60	7人	62.5	

人槽	ブロウ風量 (ℓ/分)
5	80
7	100
10	120

[実使用人員に対する流量調整水量・循環水量の設定範囲]

実使用人員(人)		3	5	7	10
流量調整装置	移送水量(ℓ/分)	2.8	3.6	4.4	6.3
間欠定量ポンプ	1サイクル時間(秒)	26	20	17	11
循環装置	移送水量(ℓ/分)	1.9	2.4	2.9	4.2

特 徴

嫌気ろ床槽 第1室、第2室にはそれぞれ長さの異なるヘチマ様円筒状ろ材が充填されている。流出水は第2室に設置された間欠定量ポンプによって接触ばっ気槽へ移送される。槽上部は流量調整部となっている。

接触ばっ気槽 板状の接触材が充填されており、ばっ気することでBOD除去と硝化反応が進行する。流出水は槽底部の移流口より沈殿槽へ移流する。また槽内水の一部はエアリフトポンプにより嫌気ろ床槽第1室へ循環される。(硝化液循環・汚泥移送装置)

作 業 時 の ポ イ ン ト

保守点検

①流量調整装置の移送状況を見ながら1回の吐出から次の吐出までの時間を計測し上表の1サイクル時間(秒)を参考に調整してください。(嫌気ろ床槽の水位がM.W.L付近で確認してください。)

※移送水量が少なく調整ができない場合はオフィスの掃除、定量ポンプ内部の洗浄を行ってください。洗浄後は移送水量を再調整し、確認してください。

②硝化液循環・汚泥移送装置の循環水量を上表の水量になるよう実測して調整してください。

③接触ばっ気槽の槽内水の性状・全面ばっ気の状態を確認し、生物膜の肥厚・SSの増加等が確認された場合、逆洗を行ってください。

※逆洗は散気兼逆洗用バルブ(青)の片方を閉じ5分間程度片側のみ散気を両方行ってください。

清掃

①嫌気ろ床槽第1室は、全量引き抜いてください。

②嫌気ろ床槽第2室のろ材の閉塞、短絡水流等が起こらないよう状態を確認し清掃してください。